

重点目標に沿った現状と課題（令和４年度）

資料 1

担当課	重点目標	評価指標	R4年度のまとめ	次年度に向けてお願いしたいこと
健康増進課	① 健康寿命延伸に向けた取り組みの強化	① 脳卒中死亡率、脳卒中発症率・再発率、高血圧有病者割合、平均収縮期血圧値、糖尿病有病者でHbA1cが8.0%以上の者の割合、がん死亡率、がん罹患率、がん検診受診率、喫煙率、野菜摂取量、運動習慣等の生活習慣の状況	○当圏域の平均寿命は男女とも県より長いですが、65歳平均自立期間は県とほぼ同じで、平均要介護期間は県よりもやや長いという現状です。また、脳卒中年齢調整死亡率は減少しており県よりも低く推移していますが、脳卒中年齢調整発症率は県より高い状態が続いています。また、高血圧有病率（40-74歳）も県と比べ有意に高い状況です。 ○しまね健康寿命延伸プロジェクトとして、高松地区でのモデル地区活動を市・コミセンとともに進めており、減塩・運動・心为目标に住民主体の活動が動きだしています。 ○健康長寿しまね推進会議では、各分科会（食・運動・たばこ・歯・心）を中心に啓発等を行っているほか、働き盛りの健康づくり出前講座を実施していますが、コロナ禍で事業所への周知不足もあり申込は減少しました。地域・職域連携推進連絡会において現状を共有し、情報発信等の検討を今後もすすめていきます。 ○その他の生活習慣病予防対策については、糖尿病予防対策検討会で重症化防止対策の取組と課題について協議しました。	①地域全体の健康づくりの気運を高めていきたいと思いますので、いまより一つでも健康なことに取り組む「プラスワン活動」の周知・取組にご協力お願いします。 ②保健所が主催する生活習慣病予防等の会議への出席及び取組にご協力お願いします。
	②医療依存度の高い在宅療養児への生活支援体制の構築	② 小児対応が可能な訪問看護ステーションの増加、医療型ショートステイ、障害児通所支援の拡充、保育所・幼稚園等への看護師の配置割合、医療的ケア児等コーディネーター数	○医療依存度の高い在宅療養児の個別支援（訪問・関係機関との調整・支援会議参加等）のほか、相談支援事業所と個別ケースについて情報交換等行い課題等共有しました。また、災害時個別支援計画については、必要児に随時作成しています。 ○支援にあたっては、R4年11月に開設した島根県医療的ケア児支援センター（島根大学医学部付属病院内）とも連携して取り組みます。	①在宅療養児が地域で安心して暮らすことができるよう、個別支援や地域課題の共有・検討にご協力お願いします。
心の健康支援課	① 地域移行・地域定着を推進する。 ② 自死総合対策を推進する。	① 出雲圏域地域移行の状況 ※精神病床における在院期間1年以上の長期入院患者数 ② 自死者数・精神保健相談件数・酒害相談件数・精神科受診の抵抗の有無 ③ こころの出前講座・ゲートキーパー養成研修で学習した住民の数	○1年以上の長期入院患者数は横ばいから微増傾向で推移しています。入院中から医療と地域の支援機関が支援会議等を行い、地域生活への円滑な移行を支援しています。 ○自死者数は近年横ばいで推移しています。精神保健分野の相談件数は増加傾向で、経済的問題、社会との交流の機会が減少などにより、心の不調を来す方からの相談もありました。 ○アンケート結果では精神科受診への抵抗がある人は減少傾向にありますが、20代の6割程度の人が抵抗感を感じています。コロナ禍で、心の健康教育の機会が減少しましたが、引き続きこころの出前講座、ゲートキーパー養成研修の周知、効果的な啓発方法を検討し取り組むこととします。	① 長期入院患者の地域移行・地域定着に向けて、「出雲地域精神保健福祉協議会（医療の連携と在宅支援に関する部会）」で具体的な方策を検討し出雲市施策推進協議会と連携しながら取組を推進していきますのでご協力をお願いします。 ② 心の健康相談、こころの出前講座、ゲートキーパー養成研修の周知に協力をお願いします。
医 支 援 課 ． 課 難 病	① 病院及び診療所の機能分担及び連携構築を進める。	① 機能別病床数の変化（病床機能報告等） ② 訪問診療の件数 ③ 訪問看護の件数	○病院から地域に帰る準備をする病床が少しずつ増えています。 ○往診件数は減少、訪問診療件数は増加しています。 ○出雲圏域の訪問看護は、医療保険、介護保険ともに増加している。 ○看取りの件数は、年々増加しています。	① 保健所が開催する医療・介護連携部会、保健医療対策会議等への出席及び取組へのご協力をお願いします。

重点目標に沿った現状と課題（令和４年度）

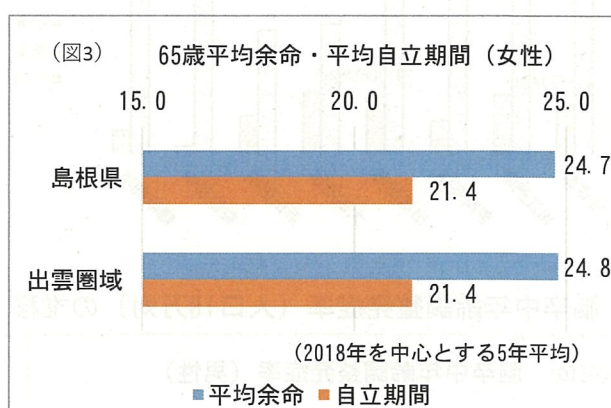
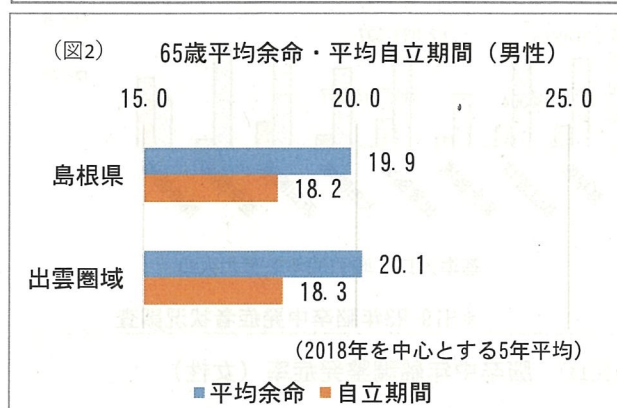
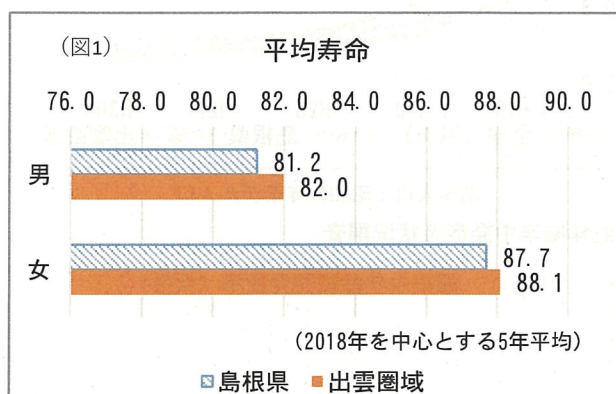
資料 1

担当課	重点目標	評価指標	R4年度のまとめ	次年度に向けてお願いしたいこと
衛生指導課	① 食中毒予防に関する正しい知識の普及	① 食中毒の発生件数	○令和4年度に発生した管内の食中毒事件は3件であり、生食用鮮魚介類の寄生虫や、鶏卵の細菌性食中毒が関与している可能性が高いと考えられました。 ○近年、全国的に生や加熱不十分な鶏肉を原因食品とするカンピロバクター食中毒事件も多発しています。 ○食中毒を防止するには、食品事業者に対して、リスクの高い食品や食中毒予防に関する正しい知識を普及啓発していくことが重要であり、併せて、一般消費者に対しても注意喚起を行っていく必要があります。 ○具体的には、事業者に対しては施設への監視指導や各種講習会等を通じて周知するとともに、消費者に対してはチラシやホームページを活用して注意喚起を行います。	① 食品衛生推進員による巡回点検時に、事業者に対して食中毒予防について周知、助言をお願いします。 ② 出雲市の広報誌、ホームページ、有線放送等を活用して、消費者、事業者へ食中毒の予防啓発にご協力をお願いします。 ③ 商工会議所の会員である企業等に対して啓発資材の配布等をお願いします。（働く方々を対象とした消費者教育）

- 【重点目標】 ①健康寿命延伸に向けた取組の強化
②医療依存度の高い在宅療養児への生活支援体制の構築

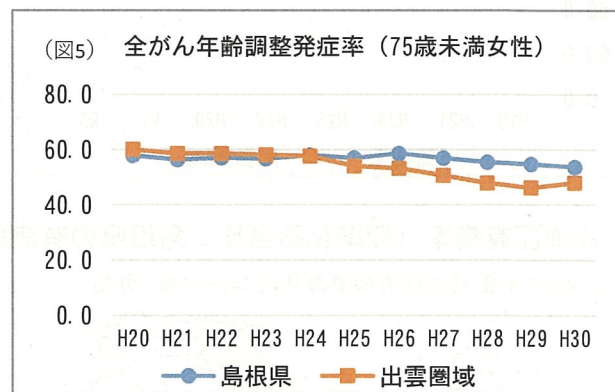
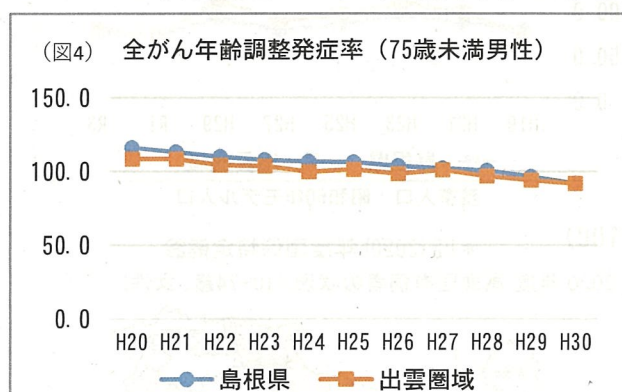
1. 平均寿命、65歳平均余命・平均自立期間

* H30 (2018) 年を中心とする5年平均



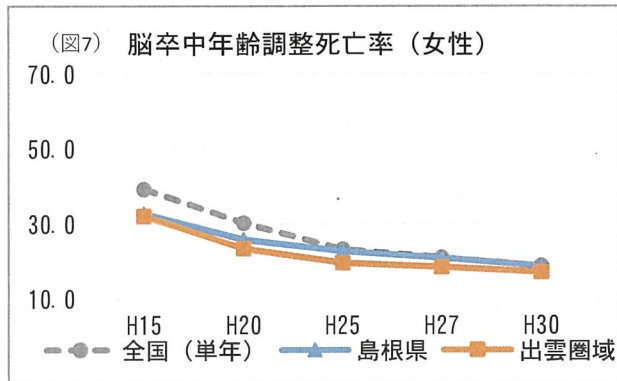
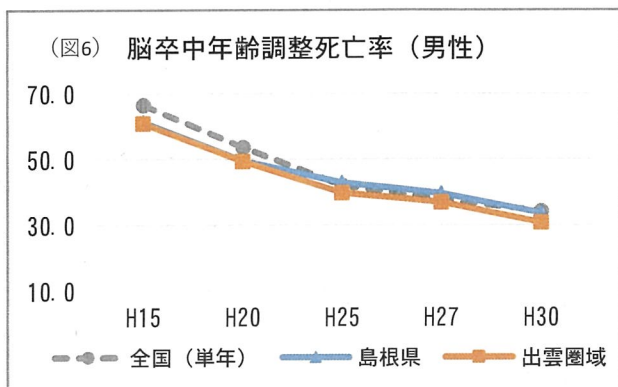
2. 全がん年齢調整死亡率（75歳未満）の推移

* H30 (2018) 年を中心とする5年平均



3. 脳卒中年齢調整死亡率（人口10万対）

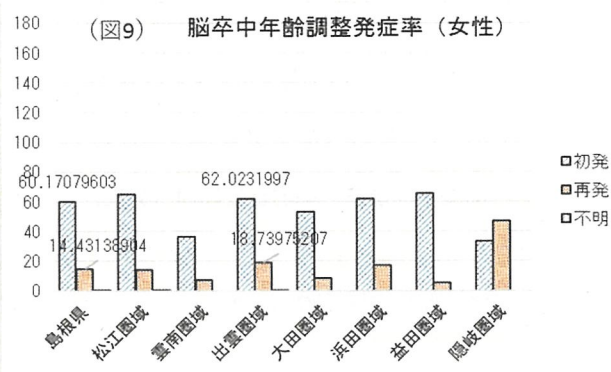
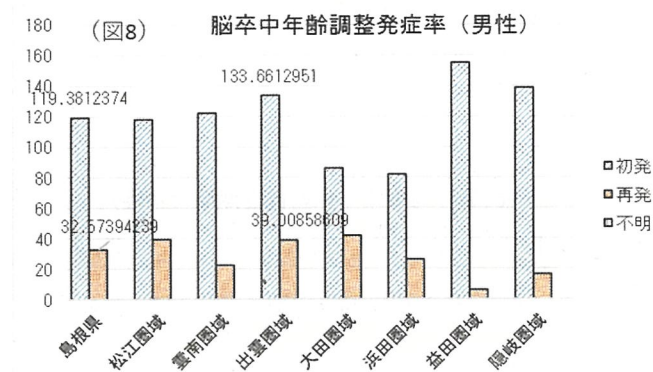
* 県・圏域はH30(2018)年を中心とする5年平均



基準人口：昭和60年モデル人口

4. 脳卒中年齢調整発症率（人口10万対）

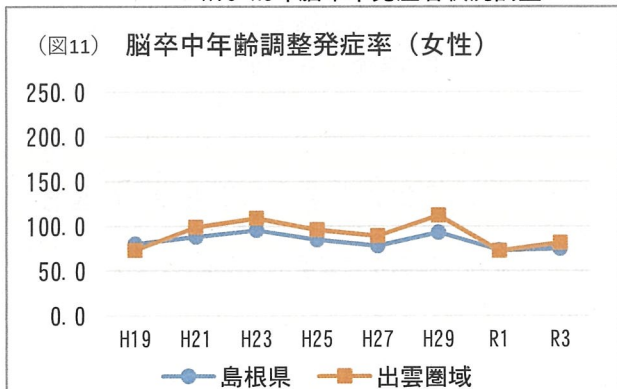
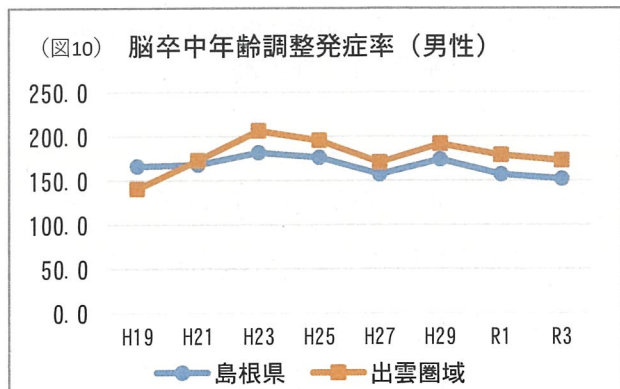
* R3年脳卒中発症者状況調査



基準人口：昭和60年モデル人口

5. 脳卒中年齢調整発症率（人口10万対）の推移

* H19-R3年脳卒中発症者状況調査



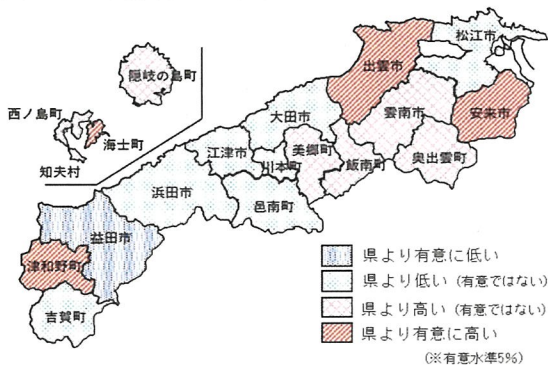
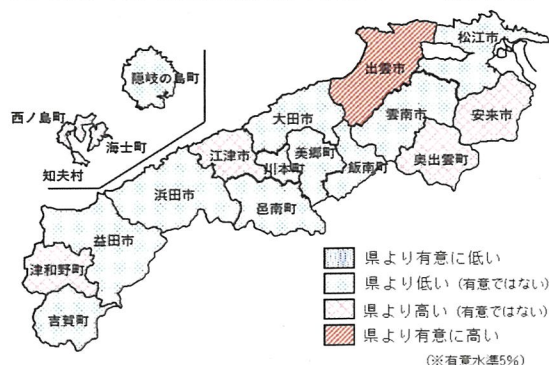
基準人口：昭和60年モデル人口

6. 高血圧有病率（標準化該当比：島根県の有病率=100）

* R2(2020)年度国保特定健診

(図12) 2020年度 高血圧有病者の状況（40-74歳、男性）

(図13) 2020年度 高血圧有病者の状況（40-74歳、女性）



（有病者定義：受診者のうち、服薬あり、または収縮期血圧140mmHg以上または拡張期血圧90mmHg以上）

1. 心の健康支援課 重点目標	①地域移行・地域定着を推進する。 ②自死総合対策を推進する。
2. 評価指標	①出雲圏域地域移行の状況 ～ 精神病床における在院期間 1年以上の長期入院患者数 ②自死者数・精神保健相談件数・酒害相談件数・精神科受診の抵抗の有無 ③こころの出前講座・ゲートキーパー養成研修で学習した住民の数

1 出雲圏域地域移行・定着を推進

①長期入院患者の入院期間状況(こころの医療センター・海星病院)

※長期入院患者とは精神病床における在院期間1年以上の入院者

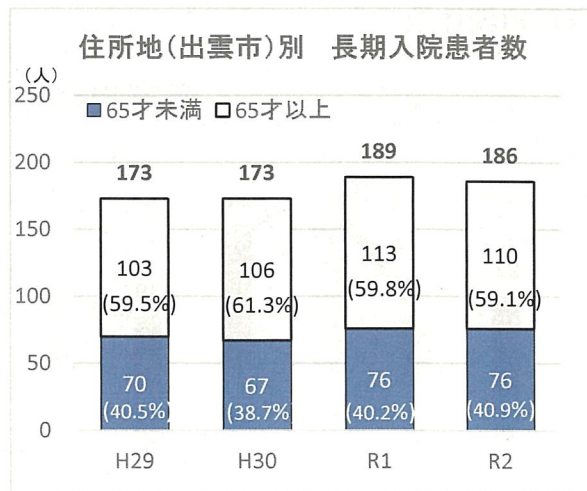
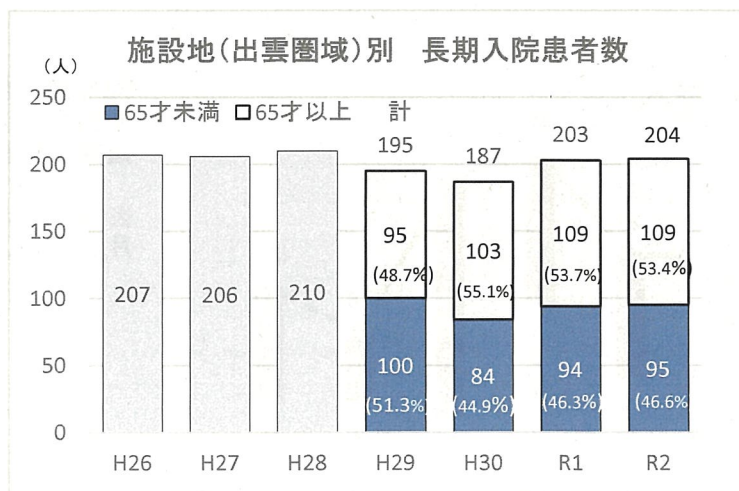
		入院患者 数	1年未満	1年以上					
					1～3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10～20年未満	20年以上
H27年度	数(人)	320	100	220	76	42	38	38	26
	率(%)	100.0	31.3	68.8	23.8	13.1	11.9	11.9	8.1
H30年度	数(人)	305	108	197	72	36	46	25	18
	率(%)	100.0	35.4	64.6	23.6	11.8	15.1	8.2	5.9
R4年度	R5年度に調査予定								

1年以上の長期入院患者数はH27年度68.8%(220/320人)からH30年度64.6%(197/305人)と減少している。

②長期入院患者数 ※長期入院者とは精神病床における在院期間1年以上の入院者

	施設地(出雲圏域)別				居住地別		
	計	65才未満	65才以上		計	65才未満	65才以上
H26	207			H26			
H27	206			H27			
H28	210			H28			
H29	195	100	95	H29	173	70	103
H30	187	84	103	H30	173	67	106
R1	203	94	109	R1	189	76	113
R2	204	95	109	R2	186	76	110

出典: 630調査、地域精神保健医療福祉資源分析データベース(ReMHRAD)

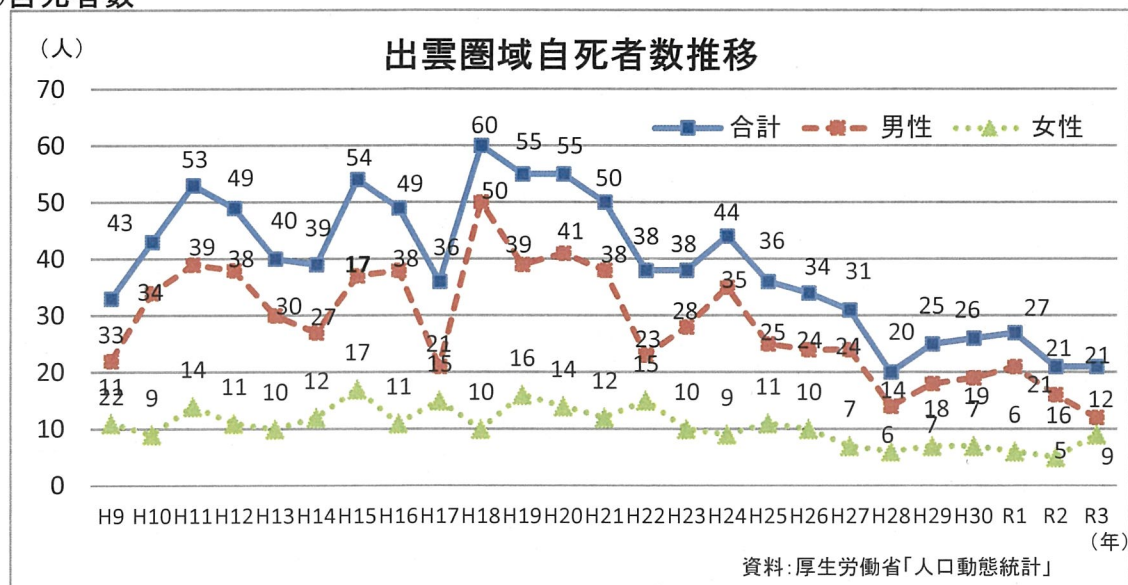


施設別、住所地別ともに、長期入院者の数は横ばい。

住所地別においては65才以上の占める割合が約6割となっている。

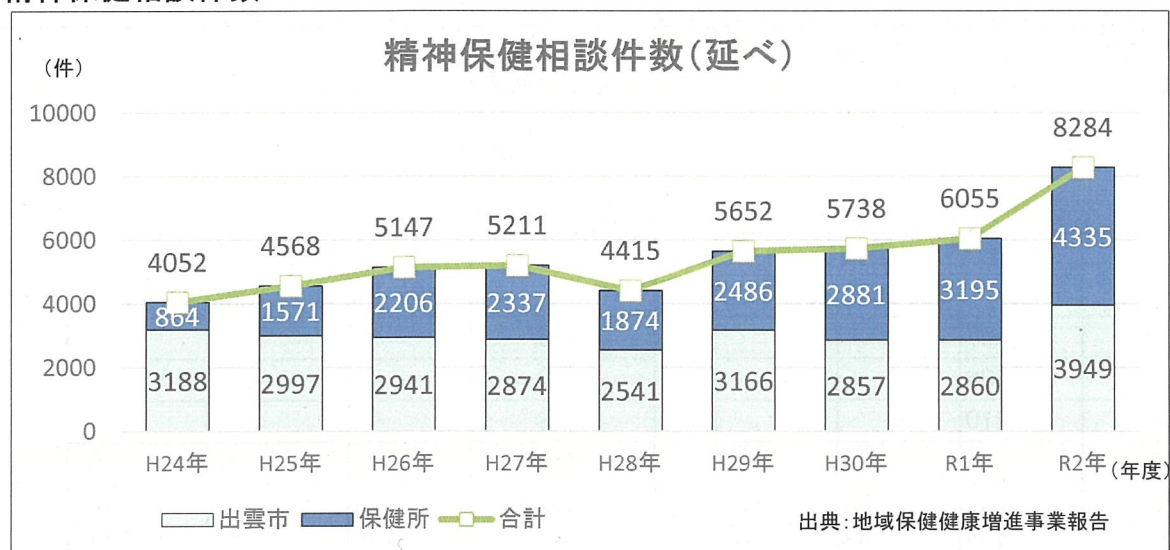
2 自死総合対策を推進する

①自死者数



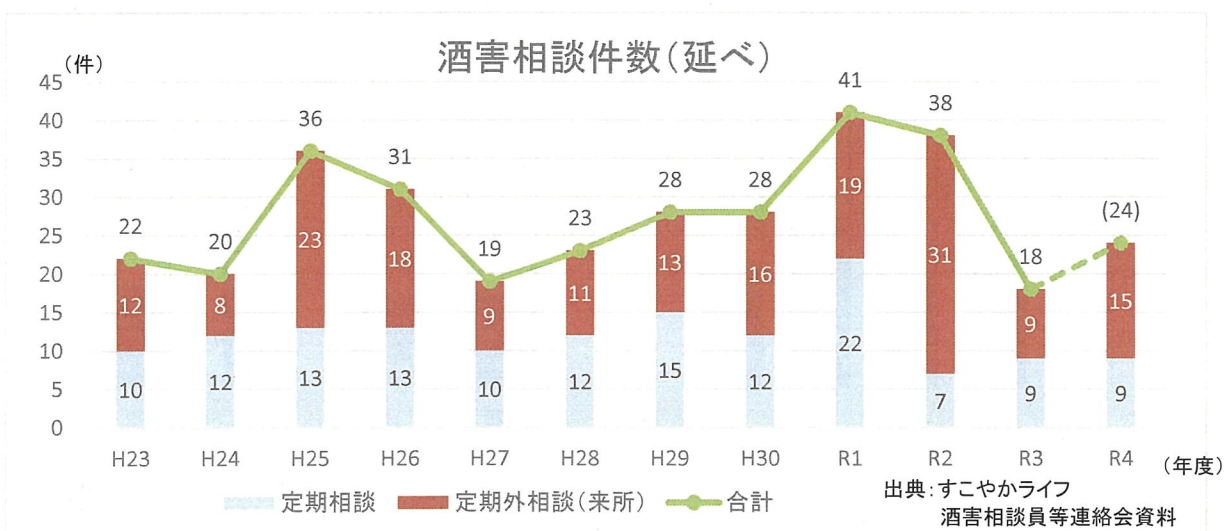
自死者数は減少傾向にあるが、今後も自死対策の取組が必要。

②精神保健相談件数



電話・来所・訪問による精神保健相談件数は増加している。

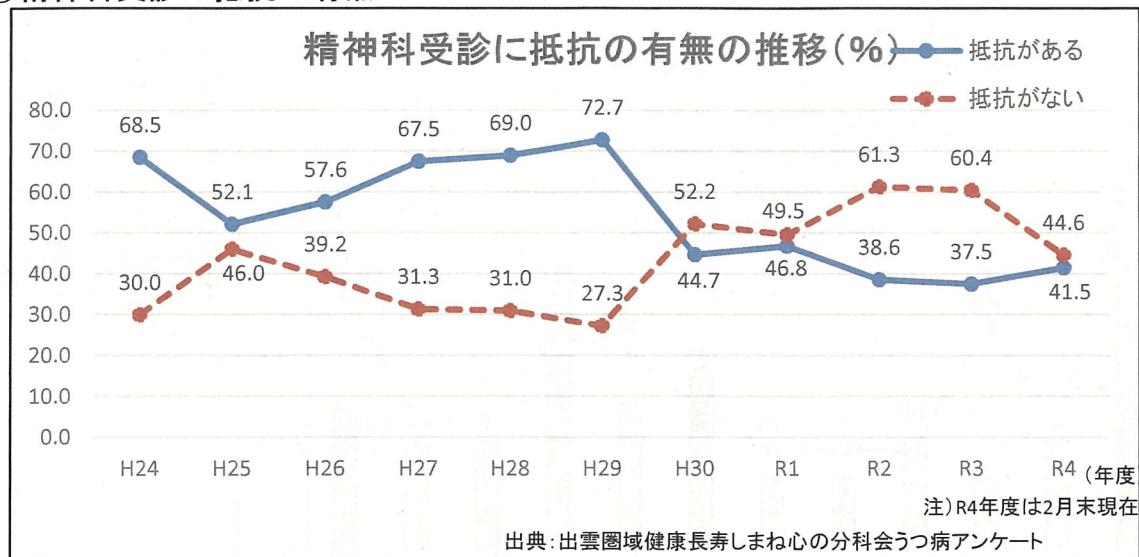
③酒害相談件数



R2年度以降定期相談は減少傾向にある。

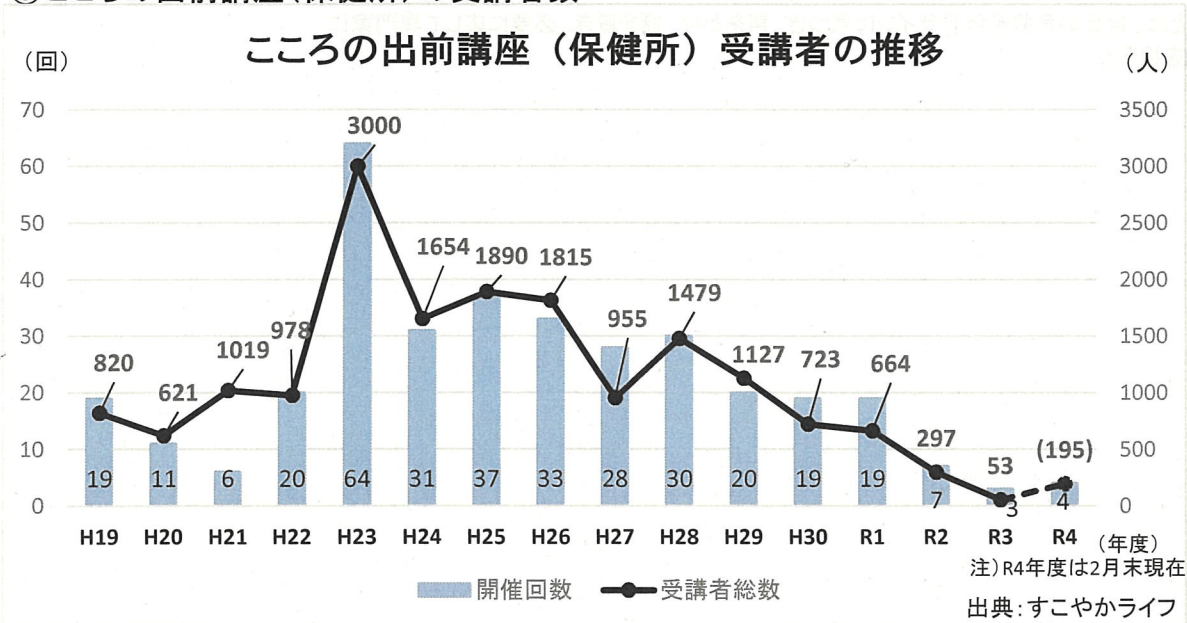
※R4年度はR5.2月末現在の件数

④精神科受診の抵抗の有無



H30年度以降、精神科受診の抵抗のない人がある人を上回った。

⑤こころの出前講座(保健所)の受講者数



心の健康づくり取組隊の協力(R4度11名登録)により、ライフサイクルに沿った普及啓発を実施しているが、近年、保健所のこころの出前講座は減少傾向で、R4年度も申込数は4回と少なく、職域からの申し込みはなかった。

<参考>

◇こころの出前講座(保健所)

【回数】

	思春期	事業所	地域住民	関係団体	合計
H26年度	5	20	8		33
H27年度	2	13	13		28
H28年度	2	19	6	3	30
H29年度	4	11	5		20
H30年度	3	13	3		19
R1年度	5	10	4		19
R2年度	2	4		1	7
R3年度		2	1		3
R4年度	1		3		4

【人数】

	思春期	事業所	地域住民	関係団体	合計
H26年度	694	916	205		1815
H27年度	183	439	333		955
H28年度	286	841	283	69	1479
H29年度	295	563	269		1127
H30年度	237	452	34		723
R1年度	374	229	61		664
R2年度	146	140	11		297
R3年度		30	23		53
R4年度	125		70		195

◇出雲圏域内の関係団体を含む心の健康教育

【実施回数】

	思春期	壮年期	高齢者	その他	合計
H26年度	8	37	118	4	167
H27年度	9	13	99	4	125
H28年度	5	21	103	6	135
H29年度	16	33	59	1	109
H30年度	28	32	47	7	114
R1年度					
R2年度	17	6	15	5	43

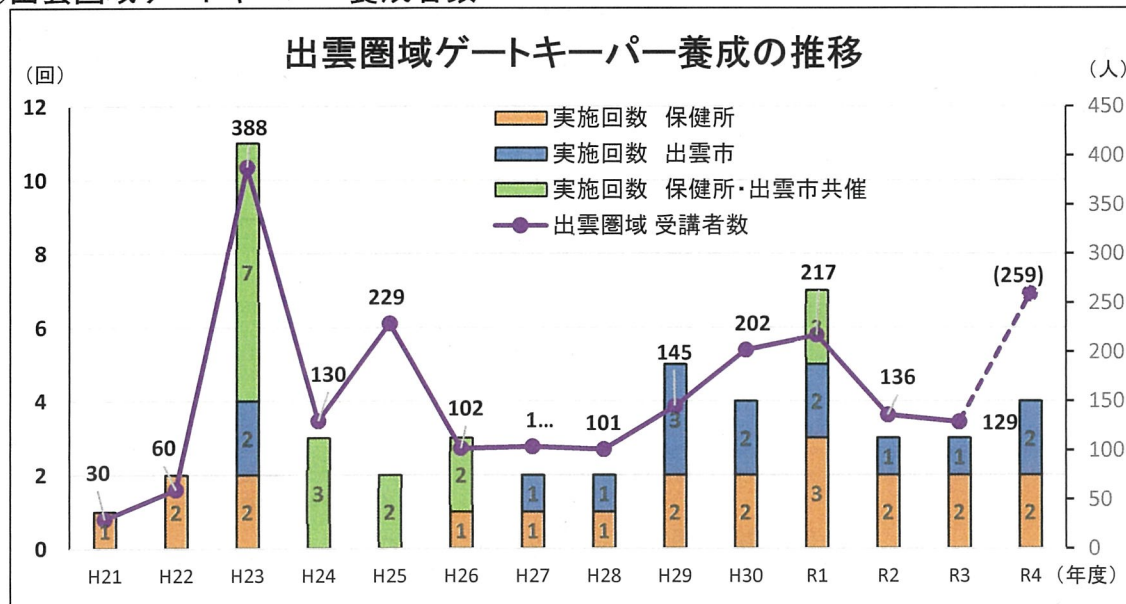
注) 調査実施時点で把握した実施回数(見込み含む)

人数

	思春期	壮年期	高齢者	その他	合計
H26年度	925	1296	3614	936	6771
H27年度					4702
H28年度	423	948	3858	174	5403
H29年度	1079	1166	1852	20	4117
H30年度	1188	776	1256	108	3328
R1年度					0
R2年度	1008	201	201	260	1670

注) 報告のあった人数のみ計上

⑥出雲圏域ゲートキーパー養成者数



出雲市においてもゲートキーパー養成研修が実施され、養成者数は増加している。ただしR2年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響により申込数が減少した。

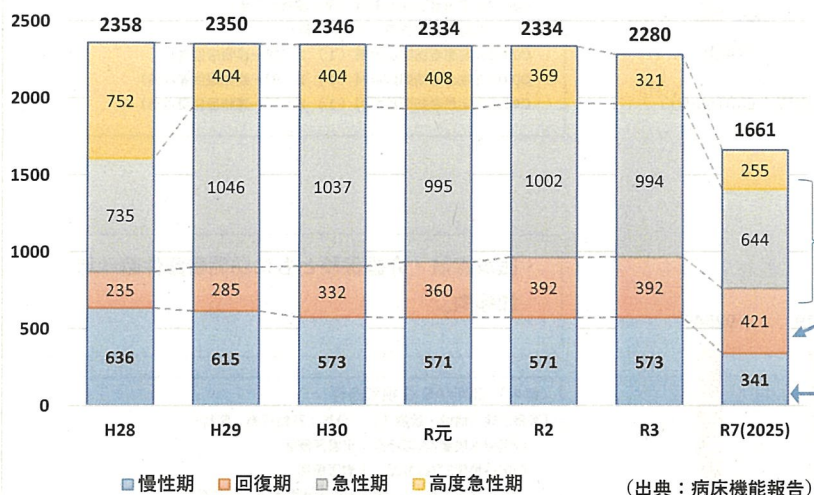
※ゲートキーパーとは、自死の危険を示すサインに気づき、声をかけ、話を聴き、必要に応じて専門家につなぎ見守る役割を担う人

1. 機能別病床数の変化（H28年～R3年）

医事・難病支援課

- ・2025年に向けて「高度急性期・急性期」「慢性期」の減少、「回復期」の増床を目指す。
- ・取り組みにより、急性期・慢性期から回復期への転換が進んだ。
- ・今後に向けて、高度急性期・急性期及び慢性期の見直しが課題。

機能別病床数の推移（病院・有床診療所）



【全体】

- ・H28→R3年度 78床減少
- ・さらにR7(2025)年度までに619床の減少が目標

【高度急性期・急性期】 減らす方向で検討

- ・H28→R3年度 172床減少
- ・R3→R7年度までに416床の減少が目標

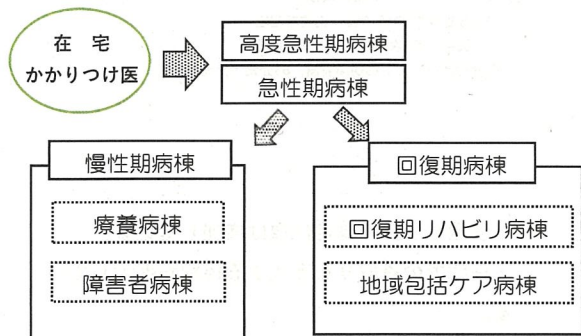
【回復期】 増やす方向で検討

- ・H28→R3年度 157床増加
- ・R3→R7年度までに29床の増加が目標

【慢性期】 減らす方向で検討

- ・H28→R3年度 63床減少
- ・R3→R7年度までに232床の減少が目標

※（参考）病床機能4区分の位置づけ



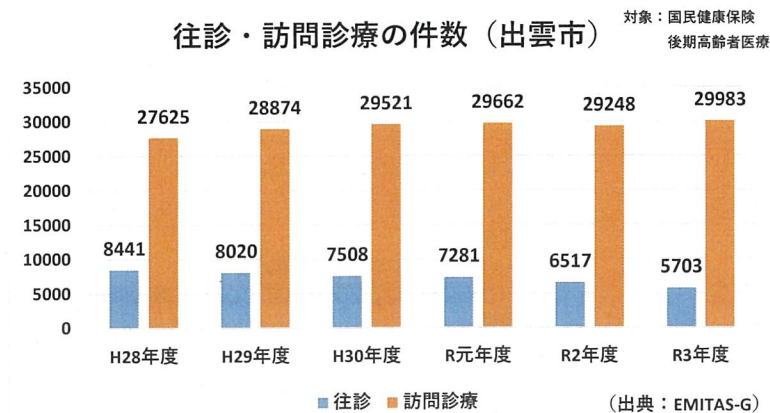
※（参考）各医療機関の病床機能

病院名	高度急性期	急性期	回復期		慢性期
			地域包括ケア病棟	回復期リハビリテーション	療養病棟 障害者病棟
島根大学医学部附属病院	●	●			
島根県立中央病院	●	●			
出雲市立総合医療センター		●	●	●	●
出雲徳洲会病院		●		●	
出雲市民病院			●		●
出雲市民リハビリテーション病院				●	
斐川生協病院					●
小林病院					●
寿生病院					●

※（参考）令和3年度病床機能報告（確定値）

令和3年度報告 (確定)	医大	県中	出雲市立 総合医療 センター	徳洲会	出雲市民 リハ病院	出雲市民	寿生病院	斐川生協	小林病院	その他の有 床診療所	合計	地域医療構 想による必 要病床数 (2025)
高度急性期	123	198									321	255
急性期	447	324	57	89						77	994	644
回復期			90	47	116	120				19	392	421
地域包括ケア病棟			50			120					170	
回復期リハビリテーション病棟			40	47	116						203	
慢性期			52	47		60	239	120	50	5	573	341
療養病棟 (20対1)			52	47				120	48		267	
療養病棟 (25対1)							239				239	
障害者施設等						60					60	
合計	570	522	199	183	116	180	239	120	50	101	2,280	1661

2. 在宅患者 往診・訪問診療の件数

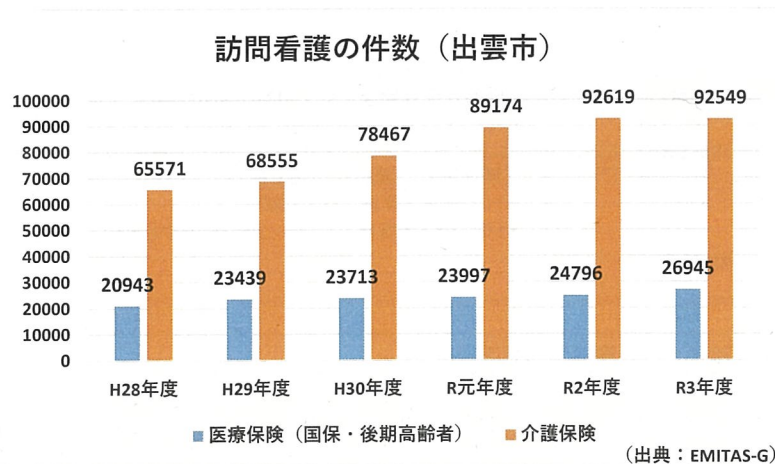


- ・往診件数は減少している。
- ・訪問診療件数は増加が鈍化している。

（参考）EMITAS-G 検索条件 分析：診療行為（医科）

- 医療保険者2次医療圏：出雲医療圏
- 医療機関2次医療圏：出雲医療圏
- レセプト名称（往診）：
 - ・C000往診（～H29年度）、C000往診料（H30年度～）
- レセプト名称（訪問診療）（～H29年度）：
 - ・C0011在宅患者訪問診療料（同一建物居住者以外）
 - ・C0012在宅患者訪問診療料（同一建物居住者）
- レセプト名称（訪問診療）（H30年度～）：
 - ・C0011在宅患者訪問診療料（1）1（同一建物居住者）
 - ・C0011在宅患者訪問診療料（1）1（同一建物居住者以外）
 - ・C0012在宅患者訪問診療料（1）2（同一建物居住者以外）

3. 訪問看護の件数

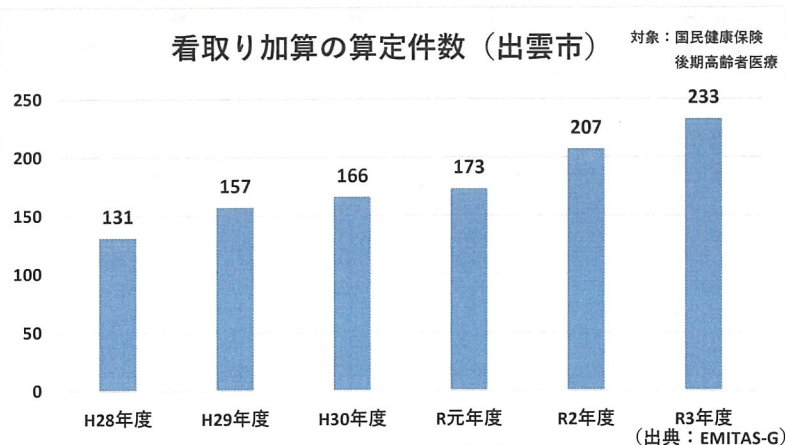


- ・医療保険・介護保険ともに訪問看護件数は増加傾向。

（参考）EMITAS-G 検索条件

- 【医療保険（病院・診療所）】 分析：診療行為（医科）
 - 医療保険者2次医療圏：出雲医療圏
 - 医療機関2次医療圏：出雲医療圏
 - レセプト名称：C005在宅患者訪問看護・指導料
- 【医療保険（訪問看護ステーション）】 分析：訪問看護分析
 - 医療保険者2次医療圏：出雲医療圏
 - 医療機関2次医療圏：出雲医療圏
- 【介護保険】 分析：介護情報分析
 - 介護保険者2次医療圏：出雲医療圏
 - 介護事業所2次医療圏：出雲医療圏
 - 介護サービス：13訪問看護、63介護予防訪問看護

4. 在宅での看取りについて



- ・看取り加算の算定件数は増加している。
- ・在宅での看取りを支援する体制が拡大している。

（参考）EMITAS-G 検索条件 分析：診療行為（医科）

- 医療保険者2次医療圏：出雲医療圏
- 医療機関2次医療圏：出雲医療圏
- レセプト名称：
 - ・C0016看取り加算（在宅患者訪問診療料（1）1・（2）イ・往診料）

【まとめ】 当圏域において、住民の希望に沿った適切な医療を提供するためには、

- ① 引き続き、病院ごとの果たす役割の確認と連携を進め、必要な病床数を目標として検討を進めていく必要がある。
- ② 提供できる在宅医療の量を維持または増加させるために、診療所の支援や病院の体制作りを進めていく必要がある。

出雲圏域食中毒発生状況（平成2年度～令和4年度）

【令和4年度】

No.	発生年月日	患者数	原因食品	病因物質	原因施設	症状
1	R4.6.19	1	しめさば（推定）	アニサキス	不明	心窩部痛
2	R4.7.25	3	生卵（推定）	サルモネラ属菌	家庭	下痢、発熱、倦怠感等
3	R4.8.8	7	飲食店の食事	不明	飲食店	腹痛、下痢、嘔気、嘔吐等

【令和3年度】

No.	発生年月日	患者数	原因食品	病因物質	原因施設	症状
1	R3.6.9	1	不明	カンピロバクター	家庭	発熱、下痢、嘔吐等
2	R3.12.8	1	不明	不明	家庭	嘔気、嘔吐、腹痛、下痢

【令和2年度】

No.	発生年月日	患者数	原因食品	病因物質	原因施設	症状
1	R2.6.24	1	しめさば（推定）	アニサキス	不明	腹痛、嘔気、嘔吐
2	R2.10.18	7	飲食店の食事	不明	飲食店	下痢、嘔気、嘔吐等

